

# えんちくPTA 会報

# えんちくPTA連合会

えんちくPTAは塩尻東筑摩の各地区単位PTAを応援する会報誌です。



吉田小学校スキー教室 2015.1.16

『子どもの豊かな未来づくり』  
~共に学び・語り・育てよう~

特集  
地域連携 いっしょに学ぶ「本城小学校閉校に寄せて」

シリーズ活動紹介  
こんなPTAいかが「広陵中学校PTAの活動」

第3回専門委員会報告・講演会「子どもとのコミュニケーションを考える」  
第4回専門委員会報告・講演会「生活指導の現状と課題」／第2回単位PTA会長会  
いまの気持ち（郡P常任委員メッセージ）

みんなだいすき学校給食・わたしたちの学校紹介  
えんちくコラム ほか

2015  
**3**月号  
東筑摩塩尻PTA連合会報 No.23  
<http://enchiku.net/>

# 専門委員会講演会・活動報告

## 第3回専門委員会講演会 12月7日(日) 「子どもとのコミュニケーションを考える」

信州大学教育学部附属教育実践総合センター  
上村恵津子先生を講師にお招きし、講演会を行いました。

【演習】「みんなで話そう」とのテーマでまず自己紹介を含めたじゃんけん大会から始まりました。

その後5人程度の小グループに分かれ“自分の子どもの自慢できるところは○○です”“私が子どもと話したいことは○○です”“私が子どもと話したいとき子どもは○○しています”とテーマごと自分の子どもについて発表しました。

自分の子どもの良い所は普段考えないせいかすぐに思いつかないことにはっとさせられ、また日常のコミュニケーションがどんな様子なのか振り返ることができました。

【講演】子どもはなぜ反抗するのか、子どもはいつから反抗するようになる（納得しなく）なったのか、これからの時期の共通点はという内容で、子どもの発達課題も含めた丁寧な内容のお話がありました。

小学生の課題は勤勉性であったり、ルールを覚える時期であり、中学生になるとその覚えたルールが自分にとってどうなのか考え始め、ルールを問い合わせ直す時期になること。そ

平成26年12月7日(日)

信州大学教育学部

附属教育実践総合センター

上村 恵津子



して、その中で自我がめばえ親の言葉に納得できない。その反面やりたい気持ちや自立したい気持ちに実力が伴っていないため、失敗経験も多くなる。大人はその不安定さに振りまわされず、離れたり近づいたり不安定な時期だと理解して接することが大切とのことでした。

そして、何の解決にならなくても話し合うことで“カタルシス効果（話してすっきりする）”があること、話しやすい雰囲気作りや環境を見つけましょう。

最後にまとめとして「話し合う」とは勝敗を決するということではないと理解し、一緒に悩みながら一緒に作戦をねり、子どもに葛藤と戦う力を養っていきましょうと話されました。

1時間という短い時間の中で、ぎゅっと詰まった濃い内容の講演会でした。自分自身の子どもとの向き合い方を考え直す良い機会になったと思います。



## 第3回専門委員会活動報告 12月7日(日)

### 教育問題検討委員会

部活動、社会体育について話し合いました。

部活動に取り組む姿は成長段階で大変必要なことですが、頑張りすぎではないのか、燃えつき症候群の原因ではないのか？また、保護者の送り迎えの問題。社会体育に関わる顧問の先生の負担などの意見があがりました。

今回、結論は「部活動は部活動内で時間の区切りを付け、社会体育のシステムを考えるべきだ」とみなさんの意見が一致しました。

### 父親母親委員会

第3回専門委員会では、以下の2テーマについて意見交換を行ないました。

- ①当日の講演会「子どもとのコミュニケーションを考える」の感想
- ②これまで経験した親子活動について

①については、各家庭での子どもとのコミュニケーションの状況や、気を付けていることなどについて意見交換をしました。②については“稲作り体験”“体育館での避難所体験”などの話を交換しました。

### 学校・地域連携委員会

親子共忙しい毎日でもコミュニケーションをとる工夫をしよう。というテーマで、一緒に風呂に入る、部活で忙しく反抗期の中学生でも送迎の車の中では自然な会話が出来る、ゲームをしながらでも子どもは話を聞いている等、活発な意見交換が出来ました。講演会で学んだ言葉以外の表情、態度から子どもの悩みを読み取って、いじめ問題を見過ごさない、また親も質問力を磨き『学校はどうだった？』ではなく『今日の給食は何？』の様に、子どもから話したくなる雰囲気づくりを心掛けるという意見も出ました。

いじめ・不登校問題に対しPTAとして何が出来るかこれからも検討していきたいと思いました。

# 第4回専門委員会講演会 1月24日(土)

## 「生活指導の現状と課題 いじめ防止等のための基本的な方針について」

長野県教育委員会教学指導課心の支援室 参事兼室長 永原 経明 氏

東筑摩塙尻PTA連合会の第4回専門委員会が1月24日土曜日に教育会館にて執り行われました。

PTAにとっても重要なテーマであるいじめ問題が、国の法整備や県条例になるなど特にインターネットを利用したいじめ等、親として関心の高い内容だったため皆さんの真剣さが伝わつてくるようでした。

また、親としてSNSなど勉強しなければいけないと痛感させられた講演内容でした。



## 第4回専門委員会活動報告 1月24日(土)

### 教育問題検討委員会

講演会から引き続き『いじめ問題』を取り上げました。「いじめ防止対策推進法」が設けられたことに対し、今まで法律にしなくともなんとかなったが、子どもが命を絶つということで深刻に受け止め、条例化することでのんな視野から、動きやすくなったのでは?いじめる側、いじめられる側の情報が必要との意見。また、子どもを教育していくなかで相手の嫌がることはやらないと親が教えるべきである。親自身のレベルアップが必要と意見交換が行われました。

最後にPTAとして「父親達がもっと学校に関わろう」と再認識し、活かされることを願います。

### 父親母親委員会

講演会の感想を発表。自分の子のクラスでもふざけ合い?いじめ?の境目が見えにくいが、大人は見て見ぬふりをせず解決の糸口を探る努力をしていく。昨今のネットでのいじめも大きな関心事。スマホを持たせる時の約束など大人も勉強しなくてはの意見が聞かれました。4月からの活動を振り返り、参加人数を増やすには?学校行事と重ならないようにしてほしいなどの要望も出され、積極的な意見に常任の皆、やってきた甲斐があり、伊賀先生から「他校との情報交換の良い場。是非、単Pに持ち帰って!」と締めくられました。

### 学校・地域連携委員会

過去3回の専門委員会の振り返りと来年度への要望を出し合いました。

- ①勉強するテーマの具体的な資料を事前に配布し、もっと討論を深める。
- ②児童数減少に伴う学校統廃合の過程について勉強することは、塙筑PTA連合会が抱える問題を解決するための糸口になる。
- ③最後に社会が複雑になっている今、いじめの様な学校問題を解決するには、学校と地域と保護者がしっかりと連携することであり、その為に保護者が今まで以上に教師と学校を信頼することが大切であるという総評がありました。



## 本城小学校閉校に寄せて

東筑摩塙尻PTA連合会 平成26年度副会長 洞 信夫

本城小学校は長野県のはぼ中央、現在の東筑摩郡筑北村に位置しており、全校児童数80名の小さな学び舎です。創立は明治22年、本城村が誕生したのと期を同じくして、本城村立本城尋常小学校として児童数360名余りで創設されました。大日本帝国憲法が発布、翌年には教育勅語が発布となる、まさに教育原点の時代でした。以降、のどかで四季の自然豊かな本城の郷で脈々と125年の歴史を刻み続けました。私は昭和四十九年卒業生であり、今は親となり、平成二十一年度には、娘を従えて本城小学校PTA会長を仰せつかりました。この頃から閉校統合の問題が単位PTAに下ろされ、重苦しい話し合いが始まりました。日を追う毎、過疎化と少子化児童減少の現実を前に苦渋の決断を迫られていました。小学校という存在は、その地域ほとんどの住民の母校でもあり、現児童、保護者、先生、行政、住民、そして卒業して郷を出た者まで、広い範囲を巻き込みます。母校小学校があつて「ふるさと」が成り立ち、自身の生きてきた源流がそこにあります。皆それぞれ心の奥にしまってある暖かい宝物なのです。これは、合併先の坂北小学校も同じ苦しみでしょう。地元に根を張る小学校、中学校の合併は決して容易ではありません。こんな現実を誰が予測したでしょう。

それから光陰6年、閉校が決まった本城小学校へ今度は息子を従えて、平成26、27年度の東筑摩塙尻PTAの活動に従事することになりました。本城小学校記念誌の卒業写真を開くと、そこには大正時代に本城尋常小学校で教師をしていた

恐そうな祖父、学生服姿のヤンチャな父、澄まし顔の私に繋がり、そして豪華なカラー版になって元気いっぱいの娘と息子へと親子四代に渡り受け継がれた歴史のページが流れています。一家一貫して最後となる閉校まで、この学校に就学できることを心から感謝すると同時に、母校の永きに渡る伝統の重みを改めて思い知らされます。控えめだけど心優しい本城小学校の精神は今も昔も変わりません。

このまま本城小学校を閉校させてよいのか。そんな思いが募る5月、学校の先生方と単P会長、僅かな有志と私を含めた、ささやかな閉校準備委員会を立ち上げました。意氣揚々として会議を重ねるも、メンバー召集、イベント開発と準備、資金、宣伝広報、会場、現実の厳しさが大きく立ちはだかりました。想いだけが空回りする日々が続きます。本城5地区の区長さん宅を一軒一軒訪ね参加をお願いし、PTA組織も有志を募り、声がけ口コミで個人的な有志参加者も交えました。先生方にも多くを助けていただきました。こうして、地域、学校、保護者、教育関係者、有志者の連合体「本城小学校閉校を惜しむ会実行委員会」がようやく発足しました。夜ごと小学校に集まり、活動アイディアを出し合い、活動費の獲得に奔走し、イベントに使用する道具を一つ一つ手作りする日々でした。

平成26年11月13日、いよいよ閉校記念イベントが開催されました。125周年125人トーチリレーは、歴代の本城小学校卒業生中心に、おじいちゃん、おばあちゃんから在学児

童まで、地域あげて125名が繰り出す大競演となりました。大声援の中、校庭を四分の一一周づつ回り、トーチに歴史を灯し、世代を超えて命の受け継ぎが続く。回るランナーの紹介と思い出メッセージがアナウンスされるたび、母校を愛する万感の想いが参加者的心に広がりました。体育館では、高齢者の卒業生から在校生に至る皆が、当時の思い出の写真を持ち寄り、大きな布地に一枚一枚懐かしむように貼りながら、何人も何人もいつまでも母校に送る寄せ書きを布地に書き込んでいました。さて、布地を吊るし上げるとどうでしょう！歓声と共に、体育館の壁を全て覆うほど大きな正方形の布地に、何枚もの思い出の写真張りで描いた本城小学校校章が浮かび上りました。日常話もしたことがない世代を超えた者同士が母校の思い出話で笑い合う光景を見ると閉校イベントやってよかったと実感した瞬間でした。子ども達と一緒に、参集した全員で大合唱した校歌は、皆の心が一つになって、どこまでも天高く届くようでした。イベントの最期を迎える、児童達の本城小学校感謝の言葉を合図に125周年125個のくす玉が次々と割れ、思い出を込めた紙吹雪が舞い、飛び出した垂れ幕には感謝のメッセージが書き込まれていました。ありがとうございます本城小学校。

この紹介は、すべて実行委員会のアイディアと手作りの

産物です。数人で始めた実行委員会は40人規模に達し、イベントには200名余りの方々に来場して頂きました。本城小学校を愛し、劳わり、夜ごと小学校に集まり、長い日数を費やし、試行錯誤で準備した皆の心です。それに応えてくれた地域の卒業生皆様により、最初の小さな感謝の花は、こうした心が集まり大輪の花として満開に咲くことができました。

これまで長きに渡り本城小学校の発展にご尽力いただいた歴代校長先生、教職員の皆様、村政の方々、歴代PTA役員、地域の皆様、そして多くの卒業生の皆様、本城小学校を支えていただき誠にありがとうございました。私たちは時として時代の波に翻弄されます。この少子化時代、閉校合併はどこかの地域でも起こり得る事でしょう。挫折や苦渋にもがきながらも、そこから抜け出した先に見るものは子ども達の未来です。未来を創造し夢を繋いでいく。厳冬の四阿山下しの北風に晒された校庭の桜も、春の芽吹きを夢見て、その小さな蕾の中に生命の息吹を少しずつ膨らませ始めています。本城小学校の80名の子どもたちも、その蕾に負けじと、聖南中学校進学、そして新・筑北小学校への進級に向けて精一杯の日々を過ごしています。そんな本城・坂北の子ども達の未来が幸せであり、新・筑北小学校の発展を心から御祈念申し上げ、ささやかな寄稿とさせていただきます。

## シリーズ こんなPTAいかが？

直 うるさい  
なあ  
と思つ  
ていたけど、  
三四郎さんの  
話を聞いて少  
し考え方があ  
わった」等の  
感想があり、  
日々成長を続  
けている生徒  
達、その成長  
を見守る保護  
者にとって大  
変有意義な講  
演会を開催す  
ることができ  
ました。



## 広陵中学校PTAの活動紹介

### 校区講演会

毎年、春には1年生と保護者を対象に塙尻市教育委員会から講師をお招きし、ネット社会の危険性を題材にお話しいただき、秋には全生徒と保護者を対象に講演会を行っています。今年度秋は、県内外で活躍中の三四六氏をお招きし、「一瞬懸命、今を生きる」と題し、今を生きる大事をお話しいただきました。生徒からは「今を生きることが当たり前ではなくありがたい事だと感じた。」「親の



### PTAバザー

わることができました。今年は初の試みとなつたPTA会長発案による「100円クジ」が大人気で、最高の当たりはバザーでお買い物した金額がすべて無料になりました。その他半額券、カレー無料券などなど、お楽しみ感もあり大人気でした。毎年違う役員さんによる進行に戸惑う方も多くいらっしゃったと思いまが、こうして無事に終えられ、皆様に感謝の思いでいっぱいです。これからも、みんなで楽しみながらう広陵中学校PTAバザーがずっと続いていくことを願っています。

毎年行われている広陵中学校PTAバザーは『PTA会員、地域の方々のご協力をいただき、資源の有効な活用に努め、学校の施設・設備の充実を図ると共に、PTA会員の連携を強める。』という趣旨のもと行われています。その趣旨通り、今年もPTA会員様、地域の皆様が品物をたくさん提供してくださり、大盛況で終りました。



単位PTA会長会後の記念撮影 役員のみなさん1年間大変お疲れ様でした。

## 各単位PTAの発表内容(要約)



洗馬小

月日が経つのをとても早く感じたこの1年でした。昨年4月のPTA総会において会長職を任命されて以来、微力な私でしたが、校長先生をはじめ諸先生方の協力とお力添えにより、諸行事を無事に終えようとしています。

私にとってこの一年、貴重な経験をさせて頂き誠にありがとうございました。



宗賀小

宗賀小PTAは、学校と開校140周年記念事業実行委員会を立ち上げ、地域の方の御協力をいただきながら事業を行いました。

児童及び保護者も、記念事業を通じて先人たちの苦労、努力の末に今の宗賀小が築かれていることを感じることができた1年でした。



生坂小

今年度PTA会長を務めるにあたり、どうせやるならPTAを楽しもうと決めて活動してきました。

年度始めの活動紹介のバラバラ漫画や学校行事など、楽しく活動でき充実したPTA会長としての1年間でした。



広丘小

より多くの「理事会だより」を発行し、多くの皆様に関心を持っていただけた。バザーは価格帯別の商品陳列や清算方法などの工夫で好評を得た。

雪かきについては今後も親と地域の再確認が必要と思われる。

(当日は古畑副会長が発表しました。)



塩尻中

一年間の活動を振り返って、親として大人として常に問題に向き合い、学び、考え、行動する皆さんの学校への関心の高さを感じました。また、その組織のひとりとして皆さんとともに活動できることは、とてもよい経験となりました。

おかげで楽しい一年となり感謝しています。



丘 中

丘中学校のPTAの代表として一年間にわたり、東筑摩塙尻PTA連合会主催の、研修会及び各分科会にわかつて、研究協議会に参加させて頂きましたが、郡P研修会や、講演会での内容を単位PTAに伝えられていないのが反省点です。来年度はもっと活発なPTA活動になることを願って来年度の役員さんにバトンを渡したいと思います。



広陵中

PTA活動を通じ、PTA役員の皆さんのが楽しく、やりがいを持って行動すれば、必ず多くの方にその思いが伝わり、素晴らしい活動になると確信をしました。

来年度PTA役員をされる方、まずは「自分自身が楽しむ!!」この事を考えて見てはいかがでしょうか。



生坂中

制服検討、PTA役員減等、PTA会員と学校との協議で方向性が出せた。

講演会や郡P専門委員会に出席し、学校・子ども・PTAの重要性が理解出来て良かった。



両小野中

本年度は、市Pの当番校でもあり、引継ぎ後は不安な気持ちしかありませんでしたが、役員の方々、先生方、会員の皆様に助けて頂き、無事に活動することができました。

同じ思いを持った方々との情報交換や情報共有ができ、とても有意義だったと思います。



聖南中

親子作業では、大勢の保護者の皆様が参加して校舎の環境美化につとめました。また3年前から学校で東北復興支援活動を行っていますので、保護者有志も参加し南三陸町を訪問して、地元の方々とふれあい強い絆を深めました。充実した活動ができ、会員の皆様のご協力に感謝です。



## 特集 みんなだいすき

Vol. 12



## 学校給食レポート

両小野中学校では、PTA保健厚生部主催による給食試食会が行われ生徒会92名に対し、49名の保護者の参加がありました。

両小野中の自校給食は、生徒からはもちろん卒業者からも「あいしい」と評判が高く、少数校の良さを生かし全校生徒全員で給食を食べるのと、さらに「あいしさ」が増します。

試食した保護者も（栄養、品質、衛生かつ安全）の心掛けにあいしさの確認しました。



&lt;今日の献立&gt;

- ・ごはん
- ・牛乳
- ・キムタク春巻き
- ・まぜっこサラダ
- ・みそけんちん汁

## 両小野中学校 『給食試食会』



## ○キムタク春巻き○

(材料 4人分)

- ・春巻きの皮 4枚
- ・濃口しょうゆ 小さじ1/3
- ・豚ひき肉 70g
- ・オイスターソース 小さじ1
- ・はるさめ 24g
- ・こしょう 少々
- ・もしや 35g
- ・酒 小さじ1
- ・つぼ漬け 35g
- ・ごま油 小さじ1/2
- ・白菜キムチ 35g
- ・片栗粉 小さじ1
- ・サラダ油 小さじ1
- ・小麦粉 適宜
- ・揚げ油 適宜

## (作り方)

- ① はるさめはゆで、食べやすい長さに切る。
- ② フライパンに油を熱し豚挽き肉を炒め、もしや、つぼ漬け、キムチ、①のはるさめを加えて炒め味付けをする。
- ③ 水溶き片栗粉でとろみをつけ、香り付けにごま油をたらし、さます。
- ④ 春巻きの皮をはがし、具をのせて包み水溶き小麦粉でのりづけする。
- ⑤ 油できつね色にこんがり揚げる。

私たちの学校  
紹介します生坂村立生坂中学校  
生徒数 51人 (2月1日現在)

校長 市河泉 PTA会長 寺島正之  
東筑摩郡生坂村 5445-2  
昭和22年(1947年)開校  
<http://park15.wakwak.com/~ikusakatu/>



## 平成26年度学校目標

豊かな心を養い、粘り強く自分を鍛えて、自ら学ぶ生徒

昭和22年に発足。犀川に沿う南北約20kmに細長い生坂村のほぼ中央に位置する。校章にかわいの葉をモチーフとし、若葉が芽吹くまで枯れた葉が落ちずに新芽を守っていることから“伝統を守り受け継ぐ象徴”としている。生坂中の特色のひとつに“チャイムが鳴らない学校”生徒自身が自らを律し行動するための伝統。少規模校ならではの学年を越えた活動に、総合学習、生徒会、文化祭準備に至るまで全校生徒参加型の校風です。地域への学びでは、しいたけ栽培、巨峰栽培、福祉の現場へと足を運び体験をしています。文化祭では、学年縦割りチーム対抗の体育祭や音楽会、ひとりひとりが大いに動いて盛り上げる行事となっています。PTA活動においてもほぼ全家庭が参加し協力的です。授業でも先生方の目が届き、給食は小学校と同じく自校給食。地域の方々が提供して下さる農産物が多く、大変恵まれています。

我が本城小学校は平成二十六年度末をもつて閉校となり、平成二十七年度より坂北小学校と統合し、「坂北小学校」として生まれかわります。その閉校となる母校の思い出を取り組みました。お世話をなつた本城小学校のそれぞれの思い出の場所を写真に撮り、その場童と職員が「写真俳句」を作りました。この記念誌の中の本城小学校を形に残そうと閉校記念誌編集委員会が地域の皆様を中心立ち上がりました。我在校生のページとして、全校児童が「写真俳句」を作りに来ました。お話しになつた本城小学校のそれぞれの思い出の場所を写真に撮り、その場に託して俳句にしました。「校庭のブランコ」「図書館」「保健室のベッド」

「写真俳句」を存じでしようか? 「写真俳句」は「写真」と「俳句」をセットにした新しい表現方法です。作家森村誠一さんが著書「写真俳句のすすめ」の中でその魅力を提唱しています。「俳句」といつても「写真俳句」は俳句とセットとなつた写真が季節を物語るため、必ずしも季語は必要ありません。そのため、だれでもが楽しく取り組める新しいジャンルの趣味として、今多くの人に受け入れられています。

「写真俳句」のページを開いた時、本城小学校で過ごした楽しい日々が伝わる楽しさを感じます。(6年女子)

おし花を  
本を読む  
しおりがわりに



校庭で こおりのタワーを  
つみあげた

「中庭で、宇田先生とカエルをつかまるのがおもしろかったです。」(1年男子)



学校の思い出を「写真俳句」に  
本城小学校校長 田中 公男

中にわで トノサマガエル  
つかまえた

「音楽室」「中庭の花壇」等、様々な思い出の場所が挙がり、その場所にまつわるそれぞれの想いが伝わる楽しい「写真俳句」ができあがりました。子どもたちの作品とコメントのいくつかを紹介いたします。





今年一年、会長として色々な会合に出席させていただきました。県Pでは教育委員会との対話会にて、いじめ問題など今をとりまく教育課題を目の当たりにしました。また、学舎融合フォーラムでは、習志野市秋津小学校の先進的なコミュニティースクールについて学びました。郡Pは、これら学校を取り巻く課題や動きを、単位PTAに伝えることが重要な役割であると感じました。一年を振り返り、その役目を十分果たせたか甚だ疑問ではありますが、来年度以降、さらに活動が活発になることを期待いたします。今年一年お世話になった皆様に、心から御礼申し上げます。

吉田小 澤木大輔(会長)

地域や社会に貢献してみたいなあと、ふとした気まぐれで引き受けたPTA役員。これまで、会社以外のこととはほとんど知らずにきたので、PTA活動は新鮮なことばかりでした。特に郡P研修会の分科会と父親母親委員会では各テーマに真剣に向き合うことができて、良い経験になりました。良い仲間に恵まれて楽しく活動できて、感謝しています。

広陵中 澤田潤(常任委員)

平成26年度の常任委員を務めさせていただいて、あっという間に1年が終わろうとしています。単Pの役員とは違い、他校の役員さんとの交流が持て、情報をたくさんお聞きする機会も多く、大変良かったと感じています。役員を受けるのはたくさんの時間の拘束があり正直大変だと思いますが、それ以上に得るものが多いと実感しております。あいにく会議が仕事と重なることも多く、メンバーの皆さんには大変ご迷惑をおかけしたと深く反省するとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

塩尻中 宮田伸子(常任委員)

今までのPTA活動は親子レクや資源物回収くらいしか参加したことなくPTAが何かも分からぬ中で引き受けてしまった副会長でしたが、この1年間研修会や講演会に参加して私自身が親として成長できていると実感しています。次の1年はこの学びを返していく1年にしたいと思っています。たくさんの出会いと支えてくださっている方々に感謝です。

宗賀小 小林薰(副会長)

役を引き受けるだけで責任の8割を果たしたようなものだと主人に背中を押されて、不安ばかりで始めた常任委員でしたが、いつの間にか逞しくなった我が子の後姿は、先生や地域の方々の支えのお蔭だと気づかせて頂きました。又私もこの一年で色々な方々に出会い勉強させて頂きました。来年度は単Pの副会長としてさらに専門委員会で学ばせて頂き、『えんちくPTAって何かいい事やってるよ!』を発信していきたいと思います。

広丘小 川平邦子(常任委員)

1年間ありがとうございました。  
郡Pの活動において、沢山の人があついてくれていたことを知りました。研修や活動で学んだことを大切にしたいと思います。

宗賀小 鈴木泰子(常任委員)

PTA会報「えんちくPTA連合会」を担当、澤木会長を始めみんなさんに助けていただき、ようやく年3号を発行することができました。日常生活とは違う時間を過ごし、貴重な体験です。ありがとうございました。

丘中 中山佳久(常任委員)

学校や性別は違えど、子どもの事を、子育てを一生懸命考えていると感じました。

集まりの中のちょっとした休憩時間に反抗期の我が子の話をしたり、そういう事も子どもの成長過程なんだと改めて思いました。

この郡Pの皆様とお話しできた事に感謝します。ありがとうございました。

生坂小 高木節子(常任委員)

郡P常任、塩尻市P連副、単P副、名ばかりの役職で自分の居場所が分からない中途半端な一年でしたが、PTAに関わり視野が広がることができ選んでくれた方に、感謝申し上げます。

両小野中 大井英治(常任委員)

子どもの悩みは誰にでもあります。それを2年間PTA活動に関わりたくさんの経験や体験、学びは自分を成長させていただき、また助けてもらいました。そして、たくさんの人にお会えたことを感謝したいです。ありがとうございました。最後に実りあるPTA活動だったと思えて良かったです。

山形小 柴史子(副会長)

昨年の今頃、郡P副会長をお引き受けするも、この大役を本当にやっていたのか不安で胸が締め付けられたのを思い出します。私の場合、出身母体の本城小学校が本年で閉校となり、混乱と準備、哀愁が入り混じる慌ただしい船出でした。しかし、魅力的で頼もしいPTAの皆様や先生方に出会い、郡P活動を通じて新たな子育てのあり方を学んだ1年となりました。澤木会長はじめ、PTAの皆様、絶大なバックアップ頂いた先生方、事務局小坂様に心から感謝申し上げます。

本城小 洞信夫(副会長)

昨年3月は何をするのか何もわからず本当にできるのか不安でした。もうすぐ任期が終わりますが、参加できることはしたつもりです。

仲間の皆さんのおかげでなんとかやってこられました。本当にありがとうございました。

洗馬小 酒井克実(常任委員)

昨年は単位PTA会長として、今年は常任委員として2年間お世話になり、この一年の常任委員では、他校の話や素晴らしい講師の方々の話が聞けて良い経験ができ感謝します。一緒に活動してきた皆さん本当にありがとうございました。

聖南中 窪田今朝輝(常任委員)

3月の新旧顔合わせ会から不安だらけで始まった郡P。先に経験された会長、副会長に教えてもらいながら、やっとここまでこれました。回を重ねて他校の代表の皆さんとの関わりの中で、それぞれ悩みは違えど子供に対するまなざしは同じと感じました。出欠のまとめ役のお蔭で皆さんと直に関わることが多く、大変さの中にも楽しい時間も持てました。郡Pでの経験をこれからに生かしていきたいです。有難うございました。

生坂中 関口悦代(常任委員)